

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>管理者とスタッフが考えた基本理念で基本理念である奉仕の精神・地域貢献となっている</p> <p style="text-align: center;">○</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>玄関先に大きく掲げ、基本理念は職員全員が熟知しており、又介護理念も作り上げ日々業務の目標としている</p> <p style="text-align: center;">○</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>施設案内のパンフレットに明記したり、玄関先に大きく掲げている。施設来設の場合にも説明を行っている</p> <p style="text-align: center;">○</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>入居者様と散歩に出た時は必ず挨拶をかわし、施設内で催し物がある時は、近所の方々をお招きし気軽なお付き合いを行っている</p> <p style="text-align: center;">○</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>老人会・民生委員・PTAの方々とも交流を深め行事がある時は参加し、お招きしたり小学校との交流会等を行っている。又、地域の民生委員、福祉会議に参加し施設の報告をしている</p> <p style="text-align: center;">○</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議・介護相談員さんの訪問時等に御意見を伺い、それに向けて取り組んでいる	○	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価は日々業務の振り返りだと思っている。御意見を頂いた分に関しては更なるレベルアップを目指し、自己研鑽に努めるよう努力している	○	
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では会を重ねる毎に貴重な御意見を頂き、日々業務に反映させている。施設内の現況等は常に報告している	○	
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の時市町村の担当者からアドバイス等を受けている。町の福祉合同会議に参加し、御意見を頂いている	○	
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会において成年後見制度等について学習する機会はあるが、現在当施設内で対象となる事例はない	○	
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員一同、身体的、言葉による虐待等を家族と共に見過ごさないよう常に注意を払っている	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は十分な説明の時間をとり誤解不安が残らない様に家族、管理者と一部ずつ契約書の交換、保管をしている</p> <p>○</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者、家族からのご意見は小さな事でも取り上げ、皆で問題解決にあたり良い運営につながる様努力している</p> <p>○</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月だんらんだよりで、写真・お預かり金明細書・病状等、細かい情報提供をしている。随時必要があれば電話等でも情報交換を行っている</p> <p>○</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談窓口について詳細に文明化し、玄関先に提示している。些細な事でも耳を傾ける様にし、日々業務の中にフィードバックしている。玄関先に意見箱を設置している</p> <p>○</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日頃より耳を傾け反映できる様につとめている。職員が家族同様の付き合いをする事で職場の雰囲気も家庭的である</p> <p>○</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況の変化要望に柔軟な対応が出来るように職員の希望を聞いて勤務表を作成する事で人員確保に努めている</p> <p>○</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職を抑えるために出来るだけ職員の意見を取り入れるようにし休日を多めに取れる勤務体制にしている</p> <p>○</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内で勉強会を行っている。施設外研修は順番で勤務扱いで参加させるようにしている	○	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム交流会に参加させて頂いている。色々教えて頂き良い勉強になっている	○	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	よく話を聴くように努力している。場合によっては、1対1でゆっくり話をする時間を設けるようにしている	○	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	それぞれ得意分野があり、それを伸ばしていける環境をつくるように努力している	○	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前訪問を行ったり、来訪時にゆっくり話を聴き関係作りを行っている	○	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	訪問、来設による面接や電話等で情報収集に努め関係作りも行っている	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	十分なアナムネ聴取を行い、問題点を見出し支援・対応を行っている	○	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人、家族様の施設見学や機能、サービス内容を十分に説明し、必要時は1日ホームで過ごしてもらったり、納得のいく状態でサービス開始につなげている	○	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ICFの視点を念頭に置いて職員教育を行い日々のケアにあたっている	○	
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の介護負担も考えながら家族、職員、入居者様がお互いに支え合い良い人生が送れるように、コミュニケーションを取りながら行っている	○	
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	時には本人の代わりに家族へ電話をしてお互いの良き代弁者となる	○	
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所は本人や家族から情報を得ている。面会ノートを作成したり、又、希望があれば墓参りや知人宅の面会等にも職員が同行している。電話等による支援も積極的に行っている	○	
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ひとつの縁で一緒に生活を共にする様になり、お互いをいたわり合い助け合っていけるよう支援に努めている	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了しても手紙を出したり面会に行ったりして交流を図っている	○	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	認知症専門様式センター方式で個別アセスメントを行い一人ひとりに合わせた計画立案を行っている	○	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、本人家族様から十分な情報収集に努め又、紹介の場合は介護、看護添書、Drの紹介状等から情報収集を行っている	○	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ご本人様の一日の生活パターンを把握し決して無理いじしない様生活支援を心がけている	○	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人、ご家族様の意向を重視しご本人が心地良い安全な生活を送れる様な計画書に心がけている	○	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月モニタリングを行い現状を把握し、それに沿った計画書の見直し、作成をしている	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の記録から情報を得て次の介護計画に反映させている。個別記録はSOAP方式を取り入れている	○	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	必要があれば支援できる様情報収集に努めている	○	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	必要時は協力支援して頂けるよう情報提供、交換は行っている	○	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要があれば支援できる様情報収集に努めている。在宅介護支援センターのケアマネジャーさんとの交流を図っている	○	
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現時点で地域包括支援センターとの協働事例はないが、事例発生時は協働できるよう情報収集には努めている	○	
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当施設のかかりつけ医師以外で本人、家族様の希望があれば支援をしている。月2回のかかりつけ医師の診察と必要時は他科受診のアドバイス、紹介等を受けている	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医師に相談し必要時は他科受診の紹介、アドバイス指導を受けている	○	
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	当施設は看護師4名が常勤しており、日々の健康管理を行っているが、それ以外で必要時は他科の看護師とも十分コミュニケーション、連携を取り支援している	○	
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中は面会に行き退院についての話し合いにも出席し、退院の支援を行っている。又、家族も交えて医療機関と密に連絡を取り病状の把握、対応方法等情報収集に努めている	○	
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族と文書化した書類を交換し、必要時は、かかりつけ医師にムンテラを行ってもらっている。説明と同意を得た上で治療方針を選択している	○	
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現時点でターミナルケアの事例はないが、家族、ご本人様の希望要望があれば希望に沿える体制は十分である	○	
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族又は、必要な関係者と情報交換しスムーズに移行できる様心がけている	○	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入室の場合も必ずノックし入居者様のプライバシーを守るよう心がけている。ケア時も必ず声かけを確認しながら行っている。記録の保管にも気をつけている。スピーチロックせず傾聴に心がけている	○	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人様の思いや希望の把握には十分に努め、自己決定できるよう援助している	○	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	モニタリングケア時、本人様の希望・要望を伺いそれに合わせてケアを行っている。決して無理いじをしないよう心がけている	○	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	季節の変わり目には買い物に行き、洋服を買い替えたり床屋も本人様の好む店に行くか施設に床屋さんに訪問して頂くか、ケースバイケースで対応を行っている	○	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は入居者様とスタッフが一緒にいただき、季節や行事に合わせて献立を考えたり、時には入居者様に得意料理を作ってもらったりしている。片付けは入居者様と一緒にしている	○	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	毎週日曜日はお楽しみ会としてお酒が飲める人はお酒を出している。入居者様の誕生日には誕生日会を開きケーキを皆で頂いている	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	昼間はトイレ誘導を心がけ失敗があっても本人様が傷つかれないようさりげなく交換等の介助を声かけをしながら行っている	○	
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は本人様の入りたい時、入りたい時間に誘導介助を行っている浴室には温風ヒーターを設置しているので冬の入浴は温度差なく入浴できる。お湯も湯温度計を使用している	○	
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入眠される迄見守りや巡視を行い、眠れない方には眠られるまで付き添いを行っている	○	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個人能力を見出し、それぞれに得意な事を活かせるよう支援している。雑巾縫い、園芸、包丁とぎ等、個人の能力に合わせて援助している	○	
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分で管理される方は自分で持たれており管理できない方は買い物に行った際、欲しい物があれば選んでもらい介護者と一緒に支払いをするようにお金にふれる場面作りをしている	○	
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物と一緒にいたり散歩に出かけたり本人様の望まれる様支援している	○	
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	車での遠出や温泉に行き一緒に入浴したり外食等楽しんでいる。その度家族をお誘いしているが、家族の仕事上の問題があり、なかなか実現していない	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望される時は本人様が自由に電話をかけられる。	○	
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問の時間規制をしていないのでいつでも訪問でき、自室や和室などで過ごして頂いている。家族から自宅で取れた野菜等を頂き料理として入居者様全員で頂いている	○	
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	見守り気配りを行いベットの使用できない人に対しては床にマットレスを3枚敷き詰めて、できるだけ自由に行動されるようにしている	○	
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵は全くかけていない。介護者の視線からはずさない様ケアにあたっている	○	
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は職員に入居者の担当を決め責任を持って見守りをし安全確認に努めている	○	
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の状態に応じて危険防止に努めている。ハサミ・ナイフ等を自己管理してある方はなく必要時はスタッフに申し出られ使用する時は付き添っている	○	
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルを作り事例発生時はマニュアルに沿って行動できるようにしている。看護師が必ず勤務体制の中に一人は在中するようしており勉強会等も行っている。ヒヤリハットを活用し事故防止には細心の注意を払っている	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時マニュアル緊急連絡網を作成しており事例発生時はマニュアルに沿って対応できる。勉強会も正看護師が中心となり行っている。消防署に依頼し救急処置法も入居者様、職員共に実地指導を受けた	○	
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の消防団に情報提供し、情報も得ている。入居者と職員での避難訓練を定期的に行っている	○	
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居者様に変化があれば必ず家族に連絡を行っている。必要時や家族が希望されれば、かかりつけの医師からムンテラも行ってもらいできる限り良い時間を施設内で送ってもらえるようにしている	○	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	午前10時にバイタルサインチェック施行し、熱計表でバイタルサインの変化が一日で解るようにしている。異常時は看護師が報告を受け症状観察を行う。必要時はかかりつけ医師に相談し早めの対応をしている。診療ノートを作り、申し送りを確実に実施している	○	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については看護師が管理し薬局からの服薬シートに基づいてWチェックし、個別に仕分けをしている。毎食後個人に渡すが、飲めない方に対しては直接与薬のかたちを取っている。症状の変化に合わせて異常がある時は看護師が判断、かかりつけ医師に上申し指示をあおっている	○	
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘に対しては水分摂取や繊維の多い食べ物を提供し、便秘の病状をシート化しスタッフ全員が理解、認識できるようにしている。適度な運動も実施している	○	
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後お茶による含嗽の実施、入れ歯の人はポリデント使用し、自力で歯磨きができない方は毎食後介護者によるマウスケアの実施。必要に応じて訪問歯科等を取り入れている	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その人に合わせた食事形態を考えて提供している。飲み込みの悪い人は刻み食とし、むせのある人には汁物はトロミをつけて提供。できるだけ野菜を多く取ってもらうよう煮物類を多く献立に取り入れ、一日の水分量を個人に合わせてチェックしている	○	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルを作成し、事例発生時はそれにのっとって対応ができるようにしている。毎年、職員・入居者の方もインフルエンザ予防接種を受け、入居者様は入居時感染予防接種を受けて頂いて感染予防に努めている。手洗い方法を洗面所に表示している	○	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	多く買いこまない。野菜等は近くの直売所で新鮮な物を購入している。まな板・包丁・布巾は熱湯消毒し必ず調理の前には専用洗剤で手洗いをこまめにしている	○	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節に応じて玄関をレイアウトし親しみやすい雰囲気作りをしている	○	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や玄関先を小物類でレイアウトし掲示板には毎月変化ある展示物を行い楽しめるようにしている	○	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや座椅子等を置き、それぞれにリラックスし過ごせるようにしている	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の好みで使い慣れた家具・仏壇・家族の写真等を持ってきてもらっている	○	
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝掃除の時は窓を開け空気の入替えをしている。各部屋に室温計を設置、冬場は小さいバケツに水を置きその人に合わせた温度調節を行うようにしている。夏場、冬場の快適な温度を保っている	○	
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーであり手すりも必要箇所には設置されている。玄関もスロープ式になっており車椅子での出入りもしやすい	○	
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々に合わせて食事の準備、後片付け、洗濯物たたみ、戸締り、生け花等をして頂いている	○	
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	入居者様の希望で庭に花を植えたり今年はぶどうの木を3本植えたので成長を見守っている。天気の良い日はベランダに出たり外の縁台で日向ぼっこやお茶をして楽しめるようにしている	○	

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

自分や自分の家族が介護されるようになって、利用したいと思う施設作りと安心。安楽な施設を目標としている。いつも入居者様の笑顔と笑い声が聞ける施設づくり。